

日本糖尿病学会 中国四国地方会 第62回総会

糖尿病劇場®

日時

令和6年

12月6日 金

17:00~17:50

会場：E会場（3F 301会議室）

“双方向の共感” ～ 24時間、闘えません～



糖尿病劇場®は、ありふれた日常場面を切り出し提示します。
医療者の行動・言動、患者の何気ないつぶやき・しぐさに
注目してみると新たな発見ができるかもしれません。

座長 黒田 暁生
演者 手納 信一
劇団 縁（えにし）

徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター
島根県糖尿病療養指導士認定機構 研修委員長
島根県LCDEチーム、他

劇場を通して皆さんと一緒に考えたいこと

私たち医療従事者は、患者さんに最善の治療を考えて一生懸命に動いています。しかし、時として、私たちの思いと患者さんの思いがすれ違うことがあります。日ごろ出会う患者さんとの一コマを取り上げ、チームで患者さんに関わる難しさを一緒に考えてみたいと思います。

～ 登場人物&あらすじ ～

白壁総合病院に通院中の桃田さん。多忙な日々の中でも中断せずインスリン治療を続けていますが、思うように血糖マネジメントが出来ていません。ある外来受診の日、診察前の待合室で自己管理ノートを手元に何やら書き込んでいる様子です。

桃田 朗 さん …… 本田 正宏

52歳男性。185 cm/80 kg 空腹時血糖 165 mg/dl HbA1c 8.2 %
2型糖尿病 治療歴10年。仕事優先の生活であり、思うように血糖マネジメントはできていないと自覚している。



瀬戸 ももか 管理栄養士 …… 岡 香代子

糖尿病療養指導士を取得し5年目。

栄養指導を担当する中で桃田さんの生活に触れ、思いを聴きたいと耳を傾ける。



奥津 温 先生 …… 熱田 侑大

HbA1cの改善、高血糖の是正には、最新機器の導入は必須と考えている。
糖尿病患者なら、当然、良好な血糖コントロールを望んでいると思っている。



岡山 キク さん …… 安原 みずほ

長年SMBGを続けていたがHbA1cが改善せず、主治医にすすめられCGMに切り替えた。
その後、血糖は徐々に安定し、今は快適に糖尿病のある生活を楽しんでいる。

後楽 えん 看護師 …… 小野 悦盛

糖尿病外来を任されている看護師。桃田さんの血糖自己測定を
SMBGからCGMへ変更するよう依頼され準備をすすめている。



劇団・縁	島根県LCDEチーム、他	安原みずほ	(松江赤十字病院 栄養課)
黒田暁生	(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター)	岡 香代子	(安来市立病院 看護部)
手納信一	(手納医院)	本田正宏	(雲南市立病院 薬剤科)
内藤潤美	(松江記念病院 診療部)	渡部晃央	(雲南市立病院 薬剤科)
太田美和	(島根大学医学部内科学講座 内科学第一)	熱田侑大	(雲南市立病院 薬剤科)
石原 宏	(島根大学人間科学部)	小野悦盛	(雲南市立病院 検査科)
安藝菜奈子	(安芸内科)	佐藤悦子	(雲南市立病院 検査科)
和田里美	(公立豊岡病院内分泌・糖尿病内科)	柳楽京子	(訪問看護ステーションめぐみ)
倉恒ひろみ	(川崎医科大学附属病院栄養部)	谷口 論	(徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター)
白石美保	(大田市立病院 看護部)		
白根弘美	(大田市立病院 看護部)		